

平成 27年 8月 6日
千葉大学 国際教育センター

8月6日～22日にアリストテレス大学（ギリシャ）と千葉大学の 学生が、房総半島の地域活性化に関する調査・提案を行います

～協働学修・調査という新しい短期留学の形～

千葉大学が短期集中留学プログラムでギリシャのアリストテレス大学の学生を受け入れ、千葉県房総半島の地域活性化に関する調査・提案を協働で行うという、新しい短期留学プログラムが実施されますことをご案内いたします。

●千葉大学が短期集中留学プログラムによりアリストテレス大学（ギリシャ）の学生を受入れ

スーパーグローバル大学牽引型に採択された千葉大学は、短期集中留学プログラム（約2週間）により、海外の協定校から留学生を受け入れ、協働学修を行っています。（受入れと派遣は隔年で交替）。このプログラムの特色は、異なる専門知識や言語的・文化的背景の異なる学生が、少人数の混成グループで、英語を媒介言語としながら、協働で特定の課題に関する講義・現地調査・問題提起・解決案提示をワークショップ形式で進めていくことです。

●テーマは千葉県房総半島の地域活性化に関する調査・提案

両大学の学生は、8月6日～22日に4つの地域（長生郡一宮町、香取市佐原、君津市貞本、南房総市和田町）の活性化プロジェクトを調査し、ギリシャで起きている同課題に関する考察も取り入れながら、実施可能な解決案の提案を試みます。各プロジェクトの運営者、行政、地位住民らと協働しながら、ディスカッションやフィールドワークを通じて、グローバルな視点から各地域の活性化に関する調査・提案を産官学が連携で行います。

また、房総半島の豊かな自然及び歴史的・文化的な建造物の理解や効果的な活用のため、千葉大学園芸学部大江靖雄教授、同大学工学部のモリス マーチン研究室などの協力を得ています。



昨年度のギリシャにおける
ワークショップの様子

本件に関するお問い合わせ先

千葉大学 ガイタニディス ヤニス（国際教育センター）

Tel: 043(290)2187（オフィス）／080(3414)1738（携帯）

Email: gaitanidis@chiba-u.jp

千葉大学 五十嵐 洋己（国際教育センター）

Tel: 043(290)2188（オフィス）／080-4875-5421（携帯）

Email: hiroki@chiba-u.jp

千葉大学 広報室

Tel: 043(290)2232 Email: bag2018@office.chiba-u.jp

アリストテレス大学日本滞在中（8月6日～21日）の流れ	
6日(木)	ギリシャよりアリストテレス大学の学生・教員来日、観光（～8日まで）
9日(日)	江戸東京博物館・両国付近散策→千葉大学において歓迎会
10日(月)	オリエンテーション：文化紹介プレゼンテーション（各大学4グループずつ）とギリシャにおける地域開発に関する紹介・ディスカッション
11日(火)	<u>プロジェクト①</u> 長生郡一宮町において、地元 NPO 法人さすがーの宮・県立一宮商業高校
～12日(水)	ビジネス研究班・商店等の運営側、建築物の再建に関わる専門家（千葉大学工学部モーリス マーチン教授ら）、一宮町長や職員ら行政との協働調査・談論を元に、提案作成
13日(木)	<u>プロジェクト②</u> 香取市佐原における聞き取り調査、佐原の町並みプロジェクトに関する英語での講義（元千葉大学工学部教授福川祐一先生）と住民運営団体との談論
14日(金)	千葉大学でプロジェクト①と②のデータ分析と次の調査準備に関するワークショップ
15日(土)	休日
16日(日)	<u>プロジェクト③</u> 君津市貞本における聞き取り調査、千葉大学園芸学部齋藤幸彦准教授による貞本プロジェクトに関する英語での講義、関係者との談論。→南房総市和田町「自然の宿くすの木」へ移動し、調査滞在開始
～20日(木)	<u>プロジェクト④</u> 南房総市和田町「自然の宿くすの木」に関し、千葉大学園芸学部大江靖雄教授による英語での講義、宿の運営側・上三原地域の評議員ら行政・老人会などの地域住民と協働で、聞き取り調査や議論を進め、当該プロジェクト活性化のための提言を試みる→千葉大学へ戻る
21日(金)	千葉大学にて最終学生発表と修了式→稲毛海浜公園にて BBQ（送別会）
22日(土)	アリストテレス大学学生・教員ギリシャへ帰途